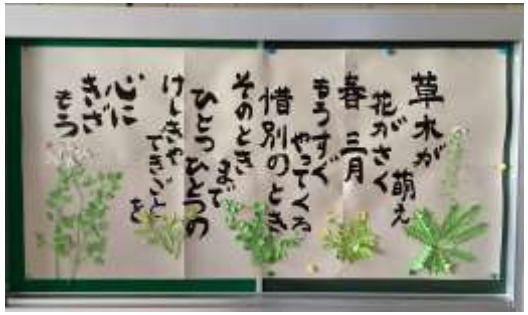
大阪市立西天満小学校校長室だより　平成２８年度　第２８号　　平成２９年２月２８日

明日も元気で来いよ！

111

いよいよ3月　今年度のしめくくり



弥生　３月。今年度のしめくくりを迎えました。６年生は、卒業まであと 16 日の登校となります。１年生から５年生までも、あと 18 日です。

さて、今月の玄関掲示の題材は、「春の七草の花」です。ご承知のように、１月７日に七草粥を食べるという風習があります。それぞれの草は、新年の季語とされています。しかし、それらがかわいい花をつけると、春の季語となるそうです。（草によっては、春の季語になるときは呼び名もかわります。）

もうすぐ卒業式。卒業生とのさびしい別れが近づいています。また、本校にとっては、慣れ親しんだ玄関や正門、遊具や一部の植栽との別れの時でもあります。別れを惜しみつつ、一つ一つの景色や出来事を心に刻み込んで、西天満小学校のよい思い出をつくってほしいと願っています。

感性が育っています

２月の玄関掲示で水仙をとり上げました。

先日、数人の子ども達が、「校長先生、学校にも水仙が咲いています」と教えてくれました。さっそく見に行くと、校庭の南側、バラの横にひっそりと、けれど、凛とした姿できれいに咲いていました。

また、１月の玄関掲示でとり上げた「メジロ」も、校庭で子ども達が見つけました。４年生は、適塾を見学に行った際に、「メジロ」をみつけて、私に教えてくれました。

正門横の白梅や紅梅が、日ごとに花を増やしている様子も、子ども達はしっかり見ています。

季節の移ろいを敏感に感じ取る感性が、子どもの心に育っていることをうれしく思います。

思い出のワンショットプロジェクト

27 号でお知らせしたように、校舎増築工事の対象となっている箇所から自分のお気に入りのポイント（校舎の一部分や樹木、遊具など）を一か所選んで、写真や絵と短文で記録に残す活動を行っています。この活動を通して、学校に対する愛着や惜別の情を、子ども達とともに感じ、共有していただきたいと願っています。

早速、カードが届いています。紹介します。

左：はんちょうといっしょに、おしりをささえてもらえて、うえまでいけたのが、うれしかったです。
入学後、初めての日曜参観でのぼり棒やうんていで、楽しく遊んでいる様子が伝わってきました。ジャングルジムでは鬼ごっこをしていました。（1 年 I さん）

中：レフト場外へのホームラン、もう見られなくなるかな。（6 年 F さん）

右：樹木の下で食べたお弁当。陽差しが強い中で一生懸命参加した演技・競技後の一休みの場所です。運動会では、毎年外で昼ごはんを摂るのが楽しみの一つでした。素敵な思い出の場所です。ありがとうございました。（2 年 K さん）

子ども達は、学校でカードを作成します。卒業生にも呼びかけています。近所の卒業生や地域の皆様にも、ぜひ、お声をかけてください。

皆様、ふるってご参加ください。

（詳細は、学校へお問い合わせください。また、ホームページでも詳しい案内を掲載しています。）